

Q1 あなたにあてはまるものを一つお選びください。【必ず回答】

- 仕事をしながら不妊治療をした経験がある
- 仕事をしながら不妊治療をした経験はないが、考えたことがある (考えている)
- 仕事をしながら不妊治療をした経験はなく、考えたことがない (考えていない) →アンケートは終了

Q2 あなたの性別を教えてください。【必ず回答】

- 男
- 女

Q3 あなたの年齢を教えてください。【必ず回答】

- ~19 歳
- 20~24 歳
- 25~29 歳
- 30~34 歳
- 35~39 歳
- 40~44 歳
- 45~49 歳
- 50~54 歳
- 55 歳~

Q4. あなたの現在の治療状況についてお答えください。【必ず回答】

- 不妊治療をしている
- 不妊治療は休んでいる
- 不妊治療はやめた
- これから不妊治療をする / 考えている

Q5. 不妊治療期間を教えてください。【必ず回答】

- 1 年未満
- 1 年~2 年未満
- 2 年~5 年未満
- 5 年~10 年未満
- 10 年以上
- 不妊治療はしたことがない

Q6. 経験したことがある不妊治療内容をお聞かせください。【必ず回答】 (複数選択)

- 検査
- タイミング療法
- 人工授精
- 体外受精
- 顕微授精

不妊治療はしたことがない

その他（具体的にお聞かせください。男性で不妊治療をご経験の方は、こちらに治療内容をご記入ください。）

Q7. あなたは現在仕事をしていますか。 【必ず回答】

はい

いいえ

Q8. あなたの現在の就業形態をお聞かせください。 【必ず回答】

正社員

契約社員

パート／アルバイト

フリーランス

その他

Q9. これまで、不妊治療のために仕事や予定に支障をきたしたことがありますか。 【必ず回答】

はい

いいえ

Q10. 不妊治療と仕事の両立が難しいと感じたことがありますか。 【必ず回答】

はい

いいえ

Q11. 仕事をしながらの不妊治療は、どんなところが難しいと思いますか。具体的にお聞かせください。

Q12. 不妊治療との両立が困難で、働き方を変えたことがありますか。（退職、休職、異動、転職など）

【必ず回答】

はい

いいえ

Q13. 働き方をどのように変えましたか。あてはまるものをお選びください。 【必ず回答】（複数選択）

退職をした

休職をした

異動をした

転職をした

その他

Q14. 働き方に何らかの変更があった方におたずねします。その理由は何ですか。あてはまるものをお選びください。 【必ず回答】（複数選択）

通院回数が多いから

診察・通院に時間がかかるから

体力的に負担が大きいから

- 精神的に負担が大きいから
- 職場で不妊治療に対する理解を得づらいから
- 職場で不妊治療に対する協力やサポートを得づらいから
- 不妊治療をしながらでは、責任のある仕事ができないと思うから
- その他

Q15. 不妊治療のために働き方を変えざるをえなかった方は、その時の自分の素直な気持ちをお聞かせください。

Q16. 仕事をしながら不妊治療をしている（いた）方におたずねします。職場で、「不妊治療をしている」ということを周囲に話していますか（話しましたか）。【必ず回答】

- はい
- いいえ

Q17. 職場で「不妊治療をしている」ということを周囲に話しづらく感じますか（感じましたか）。【必ず回答】

- はい
- いいえ

Q18. その理由は何ですか。あてはまるものをお選びください。【必ず回答】（複数選択）

- 不妊であることを伝えたくなかったから
- 仕事が減らされたり、期待されなくなったりするのではないかと思ったから
- 周囲に心配や迷惑をかけたくなかったから
- 妊娠しなかったとき、職場にいつらくなりそうだったから
- 不妊治療に対する理解が少なく、話してもわかってもらえなさそうだから
- その他

Q19. 職場に不妊治療をサポートする制度等がありますか（不妊治療時に、制度はありましたか）。【必ず回答】

- ある
- ない
- わからない

Q20. 「ある」と答えた方におたずねします。職場の不妊治療をサポートする制度について、あてはまるものをお選びください【必ず回答】（複数選択）

- 就業時間制度（不妊治療による時短・フレックスタイム、正規からパートタイムなど雇用形態の一時的な変更が認められるなど）
- 支援要員の雇用制度（不妊治療中の女性を支援する要員を一時的に雇用するなど）
- 再雇用制度（不妊治療が再雇用制度における退職時資格に含まれるなど）
- 休暇・休業制度（不妊治療が病欠・休職、有給扱いにされるなど）
- 不妊治療費に対するの融資・補助
- カウンセリング機関の設置（組織内にカウンセリング機関が設置されている）
- 情報提供や啓発活動（組織内の研修等に不妊治療への理解を求める情報提供の機会があるなど）
- その他

Q21. 先の選択肢で選択したような職場の不妊治療をサポートする制度を使いましたか。または使おうと思いませんか。 【必ず回答】

- 使った(使おうと思う)
- 使わなかった (使おうと思わない)

Q22. 「不妊治療をサポートする制度を使わなかった (使おうと思わない)」とお答えの方は、その理由をお聞かせください。 【必ず回答】 (複数選択)

- 正社員など特定の就業形態でないと利用できないから
- 制度が使いづらいから (事前の申告が必要で急な通院等には対応できないなど)
- 制度の対象となる治療内容に制限があるから (体外受精から対象、など)
- 制度が社内で周知されておらず、職場の理解を得るのが困難だから
- 不妊治療をしていることを知られたくないから
- その他

Q23. 職場の不妊治療をサポートする制度に満足していますか。 【必ず回答】

- 満足
- やや満足
- どちらともいえない
- やや不満
- 不満

Q24. 職場の不妊治療をサポートする制度について「ない」「わからない」と答えた方におたずねします。職場で不妊治療に関する何らかのサポートが欲しいと思いませんか。 【必ず回答】

- はい
- いいえ

Q25. 「はい」(職場の不妊治療をサポートする制度が欲しい) と答えた方は、どのようなサポートがほしいと思いませんか。あてはまるものをお選びください。 【必ず回答】 (複数選択)

- 就業時間制度 (不妊治療による時短・フレックスタイム、正規からパートタイムなど雇用形態の一時的な変更が認められるなど)
- 支援要員の雇用制度 (不妊治療中の女性を支援する要員を一時的に雇用するなど)
- 再雇用制度 (不妊治療が再雇用制度における退職時資格に含まれるなど)
- 休暇・休業制度 (不妊治療が病欠・休職、有給休暇扱いにされるなど)
- 不妊治療費に対する融資・補助
- カウンセリング機関の設置 (組織内にカウンセリング機関が設置されている)
- 情報提供や啓発活動 (組織内の研修等に不妊治療への理解を求める情報提供の機会があるなど)
- その他

Q26. 不妊治療に対する企業のサポート制度についてご意見をお聞かせください (充分かどうか、どのように改善すべきか、もっとこうだったら使いやすいのに、など)。

Q27. 不妊治療費についておたずねします。不妊治療費はどのようにして捻出していますか (いましたか)。

【必ず回答】（複数選択）

- 夫婦の収入
- 夫のみの収入
- 妻のみの収入
- 貯金
- 親族からの借り入れ
- 金融機関などからの借り入れ
- その他

Q28. 国や自治体を実施している不妊治療費助成金制度を利用したことはありますか。 【必ず回答】

- ある
- ない

Q29. 「ない」とお答えの方は、その理由をお聞かせください。 【必ず回答】（複数選択）

- 受けている不妊治療が助成の対象ではないから
- 所得制限を超えるから
- 年齢制限を超えるから
- 手続きが面倒だから
- 手続きの際に周囲に知られるのがいやだから
- 制度を知らなかったから
- その他

Q30. 治療のステップアップをした際（次の段階の治療に進む際）、経済的理由でステップアップを躊躇、延期（お金がたまるまで待つなど）、または断念した経験がありますか。あるいは今後、躊躇、延期、または断念すると思いますか。【必ず回答】

- 経験がある（今後すると思う）
- 経験はない（今後しないと思う）

Q31. 「{Q30}」とお答えの方は、その理由をお聞かせください。

Q32. 不妊治療を進めていくうちに、予想以上に費用が増えてきた場合、不妊治療を続けることに迷いはありませんか（ありませんでしたか）。 【必ず回答】

- ある（あった）
- ない（なかった）

Q33. 「{Q32}」とお答えの方は、その理由をお聞かせください。

Q34.

このアンケートはどこで知りましたか。見聞きした場所を全てお選びください。

Q35.

よろしければ、不妊や不妊治療に関すること、Fine に対してのご意見やご要望などをご自由にお書きください。